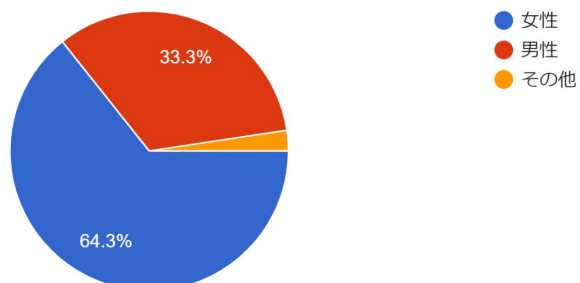


# 研究集会 The World of Mathematical Sciences のアンケート結果

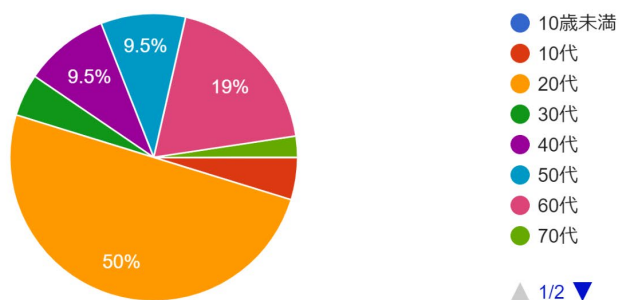
## 性別

42 件の回答



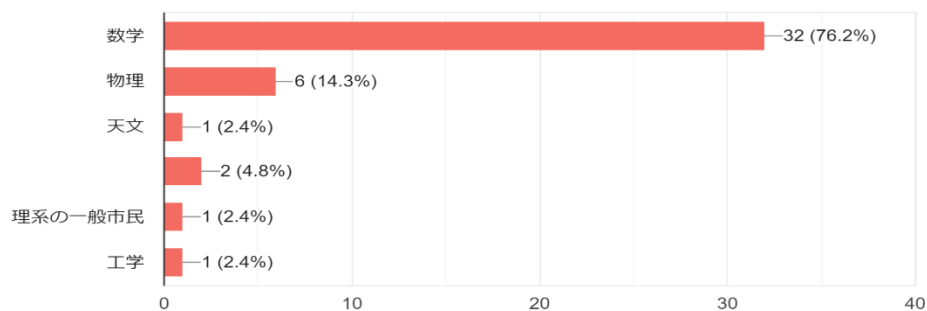
## 年代

42 件の回答



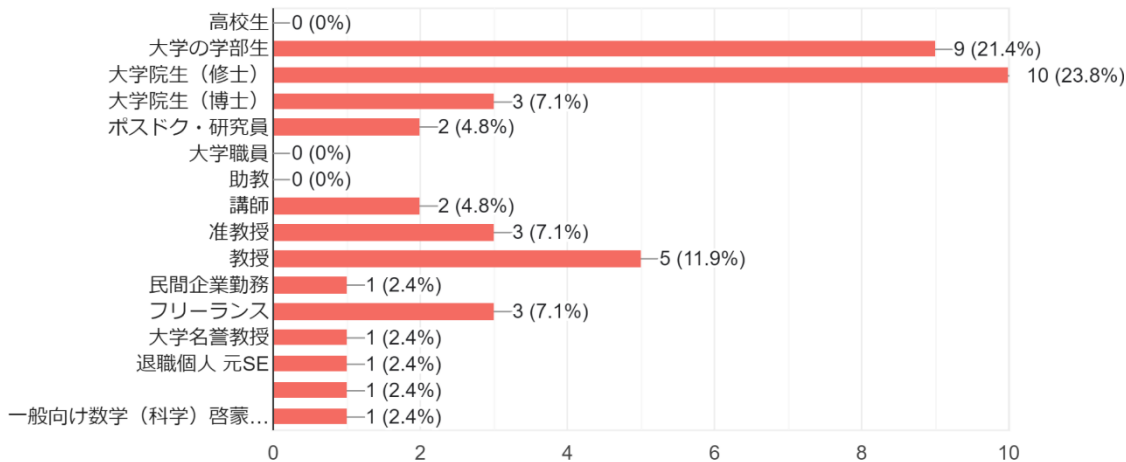
## 専門分野

42 件の回答

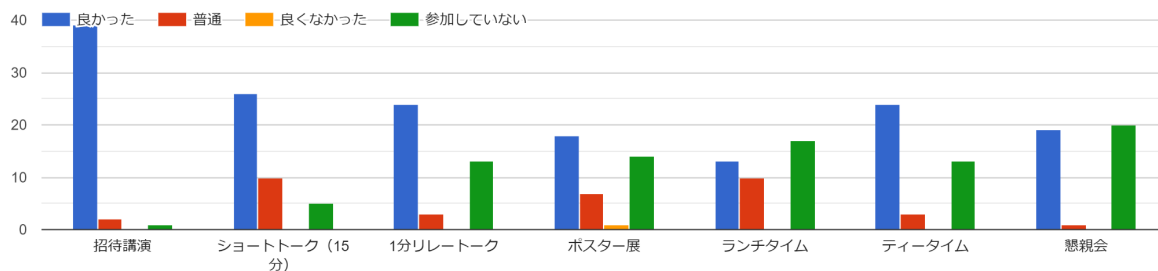


## ご職業

42件の回答



## イベントはどうでしたか？



## このイベントに参加した理由を教えてください

聴きたい講演、興味のある講演があったから、というのがいちばんたくさんありました。

友人や先生に誘われた人も多く、旅費の支援があったから参加した人も多いようです。

女性の集会だから、女性の研究者に興味があった、他大学の女性研究者や女子学生との交流がしたかったから、女性研究者を支援したかったから、など女性に特化した集会であることも参加理由の大きな理由になっていたようです。

さらに、数学・物理・天文の話聞いてみたかったという声も多くありました。自分の専門だけでなく、他分野の話題にも触れられることも理由にあげられていました。最先端の研究に触れたい、共同研究者を見つけたい、という人もいました。

具体的な声も以下にいくつか掲載しておきます：

- ・自分の大学には女性が少ないため、交流の機会がほしかったから。物理にも興味があるため、その方面の話も聞いてみたかったから。
- ・理系女性の取り組みやジェンダーに関して興味関心があったから。また他大学や別界隈の数学仲間や友人を作りたかったから。

- ・珍しい企画だったから。
- ・数学と物理の関係、第一線の研究者の活動・考え方に興味があったから
- ・年代を超えて、数学と数理物理（その周辺）の研究をされている女性研究者達と交流し、お互いに励ましあったり、研究上のアドバイスをや示唆を得たいと思いました。
- ・面白そうだったから。また、長期休暇中の平日で都合が良かったので。
- ・数物系分野の女性がどんなことで困っているのか知りたかったから。
- ・友人に誘われて面白そうだと思ったから。
- ・イベントそのものへの関心と、発表テーマほか
- ・色々なイベントに参加したいと思っていたところ、このイベントの存在を知ったため。
- ・他大学の数学科の方々がどのような研究をされているのかを知るため。また、数学に限らずに物理や天文学ではどのような研究が行なわれているのかを知るため。
- ・個人で行っている数学研究のヒントになればと思ったから。また、研究の世界にいる人と会話することでモチベーションアップに繋がりたいと思ったから。

### いちばん印象に残ったイベントは何ですか？

招待講演 15 ショートトーク 3 懇親会 3 ティータイム 2 1分リレートーク 1  
ランチ 1などがあがっていました。具体的な声も以下に掲載しておきます。

【招待講演について】様々な分野の先生のお話がお聞きできて楽しかった。専門的なお話だけでなく、それまでの経緯などもお聞きでき、面白かった。講演の内容の深さと講演者の話のうまさ。

とても魅力的だった。

【招待講演とショートトーク】様々な分野のお話を幅広く拝聴でき、非常に参考になった。

【女性だけの懇親会】 院生からファカルティーに至るまでの様々な世代の研究者と悩みなども共有できて大変良かった。くじ引きで席を決めて頂いたのも大変良かった。

【ティータイム】様々な方とお話しでき、大変嬉しかったです。

### 感想を自由にお書きください。

・今までにも参加したことはあったもののオンラインだったため、今回は色々な人に直接会うことができてうれしかったです。他の学生さんも元気に数学をしている様子を見て励みになりました。講演も、専門的な内容から背景のエピソードまで、普通の研究集会よりもざっくばらんな雰囲気でも聴くことができ、面白かったです。

・今回参加させていただいて、同じ数学領域や別分野で研究に励んでいる皆さんと、研究やこれからのキャリアについて、それぞれの価値観を共有できたことがとても価値のある経験になりました。研究やこれからの人生をどう生きるか、選択に悩む毎日を送る中で、皆さんと出逢い自分にはない考え方や頑張りを知れたことで、とても勇気をもらいました。2日間、ありがとうございました。

・大変興味深い取り組みであった。参加した学部生たちが感じた事柄は多岐にわたって有意義であっただろうと想像する。

## 研究者のネットワークにおいて、どんな情報や活動があるといいと思いますか？

- ・今回のような全国各地の理系の女性研究者が気軽に繋がれる会があると嬉しいです。今回の会は来年以降も継続していただきたいです。
- ・他大学の研究室情報(どんなことをしていて、どんな雰囲気なのかなど)を気軽に知れるツールがあると嬉しいです。
- ・参加者(中の希望者)のメールアドレス等の共有
- ・その分野だけでなく、他の分野(数学と物理など)間の交流もよりできるようになるといいと思います。
- ・専門外の人に自分の研究内容をうまく伝えるコンテスト。
- ・情報周知のメーリングリスト
- ・分野を超えたつながり
- ・このイベントのようなイベント
- ・分野や地域を超えて唯の1研究者としてフラットに議論でき、情報交換できる場や機会の提供があると有り難い。また最近は特に研究費や図書費の削減から外国語の論文の閲覧が難しくなって情報を得にくい環境のところもあるので論文紹介などもして頂けると助かります。
- ・研究者の交流会があるといいと思う。
- ・同じ分野に限らず、研究者同士で交流できるイベントや場(掲示板など)
- ・研究者の方と学生が話せる場が多くなると、学生側は有難いと思います。情報としては、どこの大学にどのような研究をされている人がいるのか、一気に検索出来るサイトなどあれば良いなと思います。
- ・研究集会や奨学金、ポストの募集などの情報がより共有されるとありがたいです。
- ・Slackのようなコミュニケーションツールがあるとよいと思う。
- ・どの研究集会に参加したことがあるかという情報です。
- ・定期的に励ます会があるといいと思う
- ・大学での数学、理系の研究の面白さ、面白くなくてもその可能性・方向性が沢山あることを中学、高校でアウトリーチし、長期的なジェンダーバランスの改善の活動をしたいです(できると素晴らしいです)
- ・今回のように女性が多く参加するような活動にとっても興味があります。
- ・公募情報、研究集会などのお知らせ、出張時の保育情報の共有、勉強会や共同研究
- ・研究者の将来のキャリアについて(研究界に残った場合の情報だけでなく、企業就職やその他の進路を選択した場合の情報についても。)※個人的には研究界に現在いない人も入れるコミュニティがあると嬉しいです。